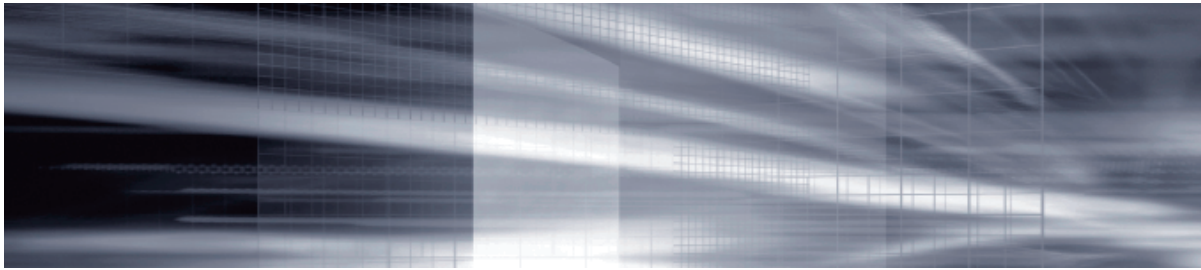




Endeavor ST170E


スタートアップガイド Windows 7





1 梱包品を確認する  p.2


2 各部の名称  p.4


3 コンピューターを設置する  p.6


4 Windowsをセットアップする  p.14


5 セットアップ後の作業  p.18

6 PCお役立ちナビを使う  p.24

7 ユーザーサポートページ  p.26

8 安全にお使いいただくために  p.27

9 機能仕様一覧  p.32

情報マップ 知りたい情報はどこにある?  裏表紙

1 梱包品を確認する

はじめに梱包品がそろっているか確認します。万一、梱包品の不足や不良、仕様違いがありましたら、商品お届け後 8 日以内に受付窓口までご連絡ください。詳しくは、[別冊](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。



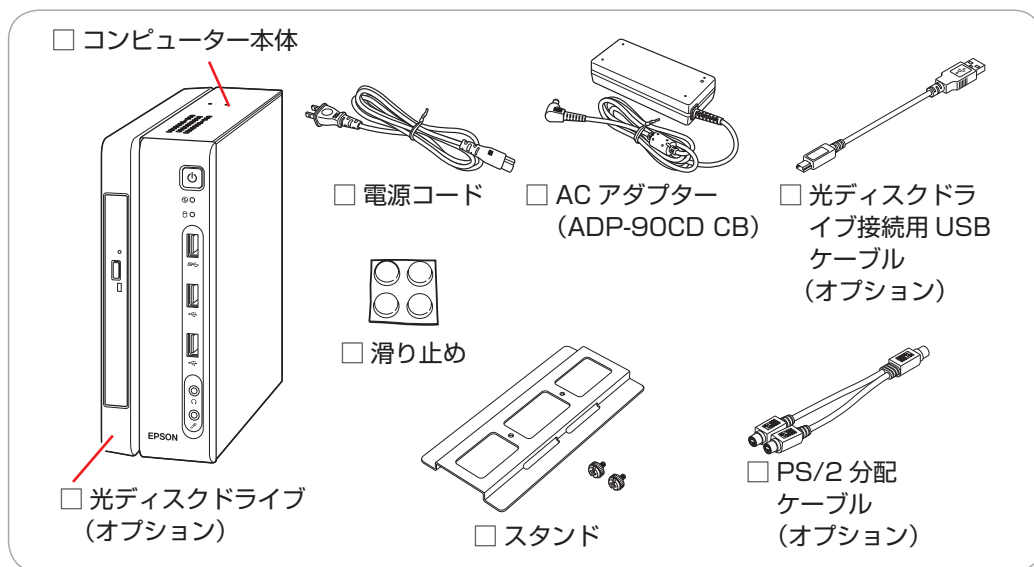
参考

保証書について

当社では、ご購入日や保証サービスなどのお客様情報をデータベースで登録・管理しています。このため、保証書は添付されていません。

1 ハードウェアを確認する

ハードウェアがそろっているか、確認してください。



※ このほかにもオプション製品が添付されている場合があります。オプション製品は納品書でご確認ください。

2 ディスクを確認する

ディスク類がそろっているか、確認してください。

- Windows 7 リカバリー DVD
- ドライバー DVD
- WinDVD CD-ROM (オプション)
- Nero 12 Essentials CD-ROM (オプション)

※ このほかにもオプション製品のディスクが添付されている場合があります。

3

マニュアルを確認する

マニュアル類がそろっているか、確認してください。

冊子マニュアル

- スタートアップガイド（本書）
- サポート・サービスのご案内


電子マニュアル（HDD 内に PDF データで収録されています p.25）

- ユーザーズマニュアル（PDF）
- セキュリティー機能（TPM）設定ガイド（PDF）
- オプション製品のマニュアル（PDF）

※ このほかにも冊子や電子でマニュアルが添付されている場合があります。

4

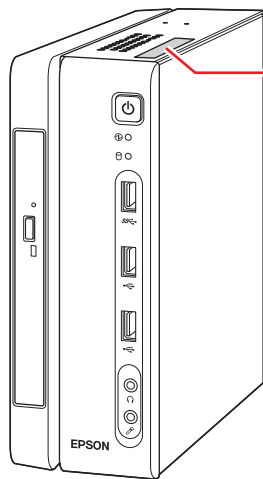
製造番号を確認する

本機に貼付されている「お問い合わせ情報シール」で、本機の製造番号を確認してください。製造番号はお問い合わせの際に必要です。  別冊『サポート・サービスのご案内』の表紙に書き写しておいてください。



制限

ラベルは絶対にはがさないでください。



お問い合わせ情報シール

次の場所でも製造番号を確認できます。

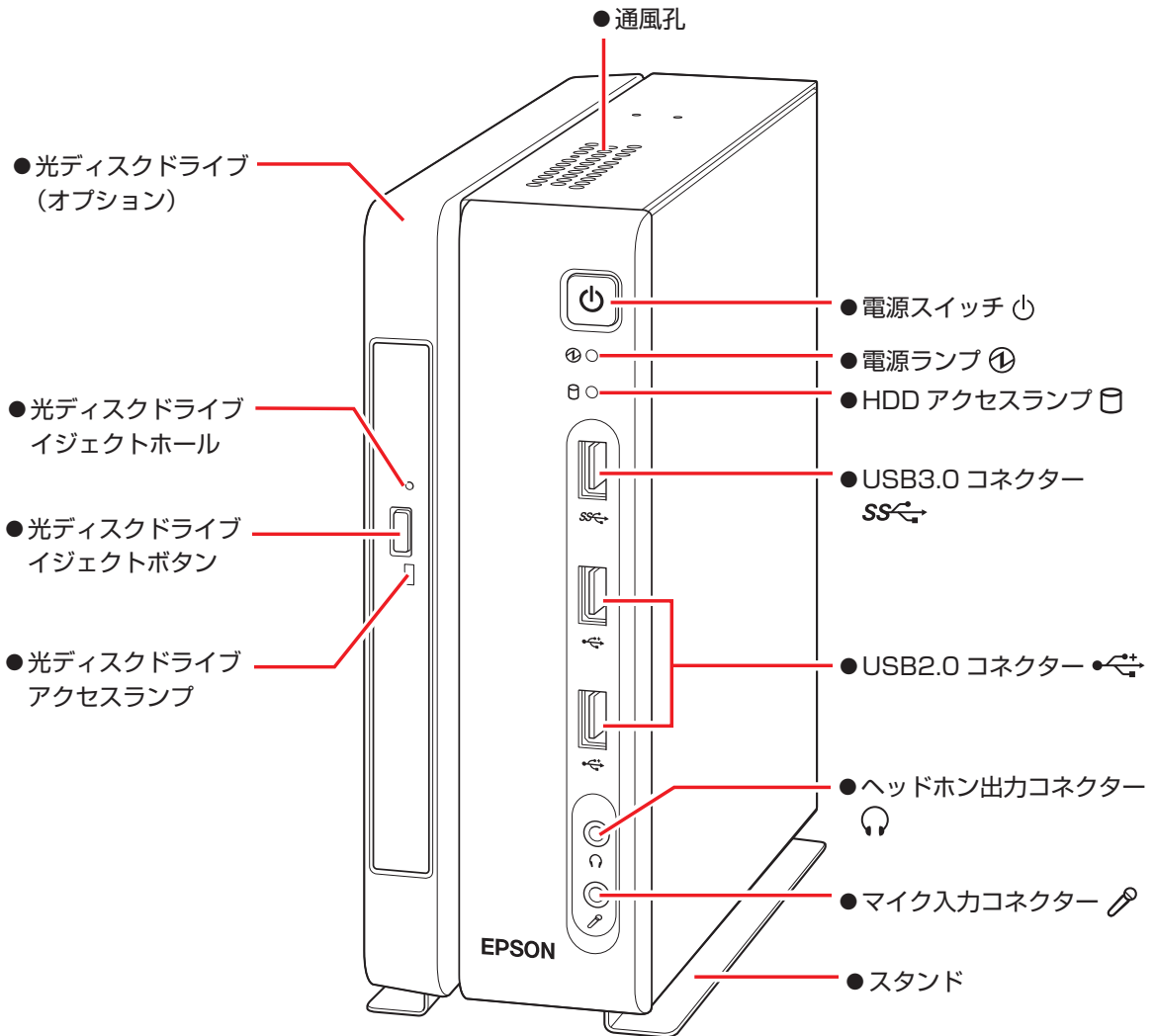


「PC お役立ちナビ」－画面下 [製品情報]

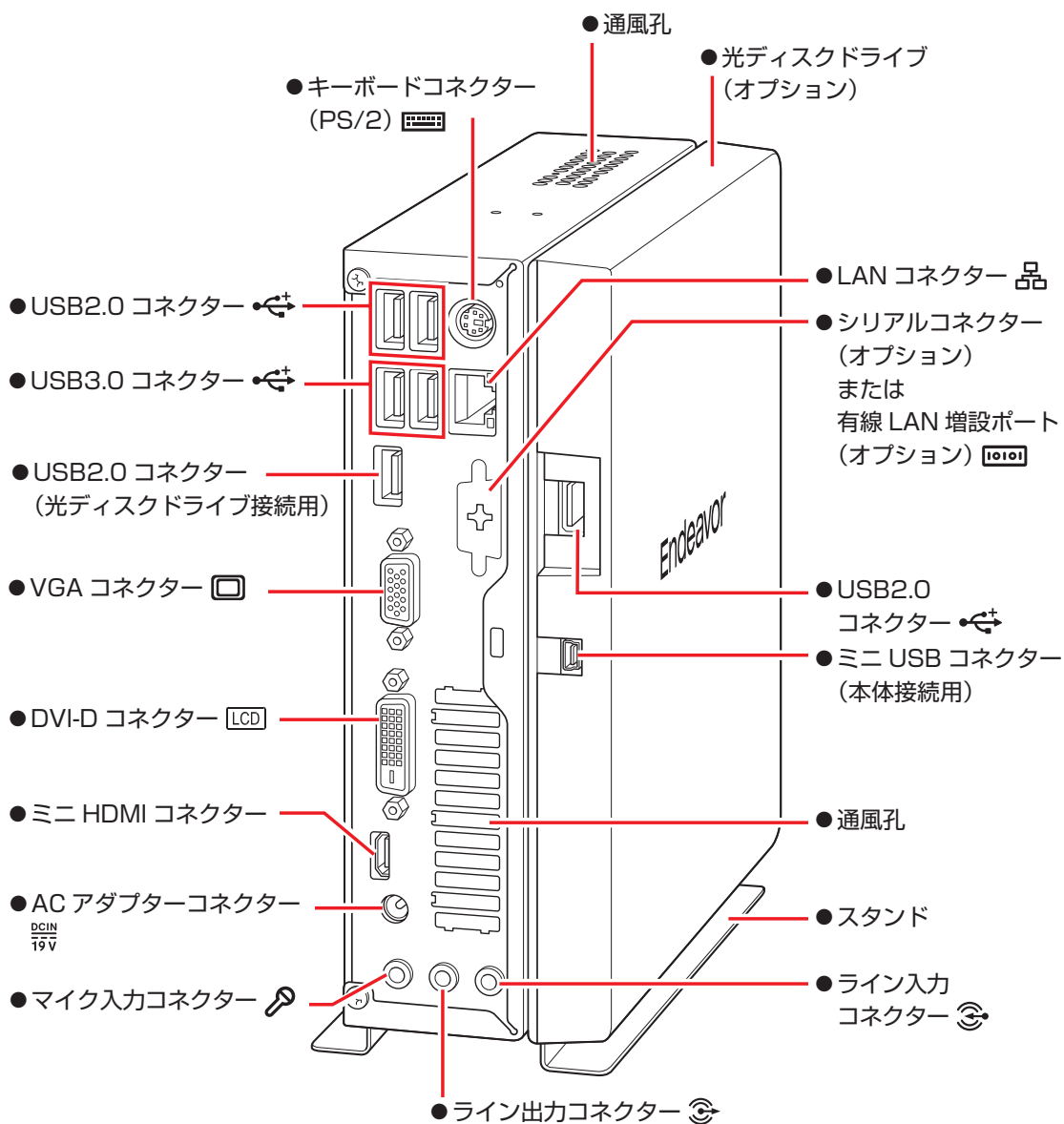
2 各部の名称

本機の各部の名称を記載します。

本体前面



本体背面



3 コンピューターを設置する

本機を設置し、使用できる状態にする手順を説明します。
プリンターなどの周辺機器は、Windows のセットアップ後に接続してください。

設置における注意



- 不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- 本機の通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと、内部に熱がこもって本機が熱くなり、火傷や火災の原因となります。設置の際は、次の点を守ってください。
 - ・押し入れや本箱など風通しの悪いところに設置しない。
 - ・じゅうたんや布団の上に設置しない。
 - ・毛布やテーブルクロスのような布をかけない。

各種コード（ケーブル）接続時の注意



- 本機には、必ず同梱された電源コード/AC アダプターを使用してください。また、同梱された電源コード/ACアダプターは、ほかの製品に使用しないでください。感電・火災の原因となります。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。発熱し、火災の原因となります。
家庭用電源コンセント（交流 100V）から電源を直接取ってください。
- 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。
取り扱いを誤ると、感電・火災の原因となります。
 - ・電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
 - ・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。
 - ・電源プラグを長期間コンセントに差したままにしない。
 - ・コンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らず、電源プラグを持つ。
電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて、刃の根元や刃と刃の間を清掃してください。
- 付属の AC アダプターを、分解・改造しないでください。
感電や火傷の原因となります。
分解・改造した AC アダプター（当社での修理対応は除く）での本機の使用は、安全性や製品に関する保証ができません。

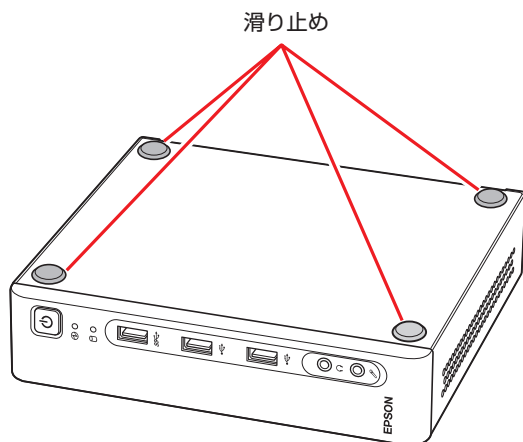


- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。
配線を誤ると、火災の原因となります。
- AC アダプターに強い衝撃や振動を与えたり、乱暴に扱ったりしないでください。また、破損した AC アダプターを使用しないでください。
感電・火傷の原因となったり、発熱・発火・破裂のおそれがあります。
万一、本機の落下などで強い振動や衝撃が加わり、AC アダプターが破損したり、変形したりした場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、本機から AC アダプターを取り外してください。
- AC アダプターを毛布や布団で覆わないでください。
火傷・火災のおそれがあります。
- AC アダプターの温度の高い部分に、長時間直接触れないでください。
低温火傷の原因となります。

1 設置準備を行います。

横置きにする場合

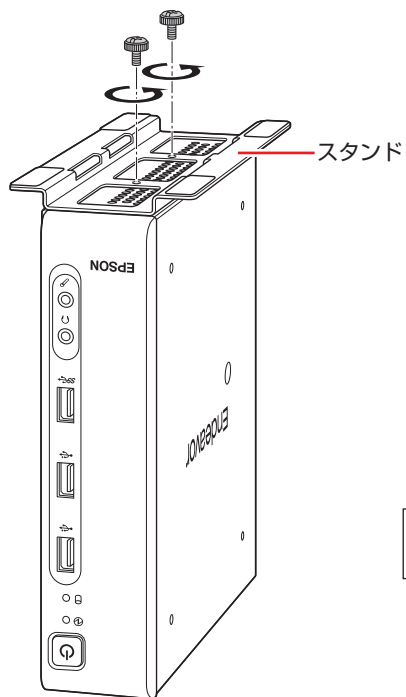
底面に滑り止めを貼ります。



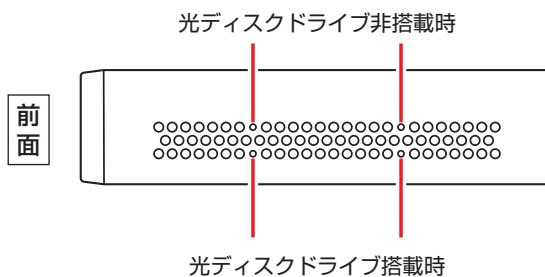
縦置きにする場合

転倒防止のため、必ずスタンドを取り付けます。

スタンドと本体のネジ穴位置を合わせ、ネジ留めします。



<本体底面のネジ穴の位置>



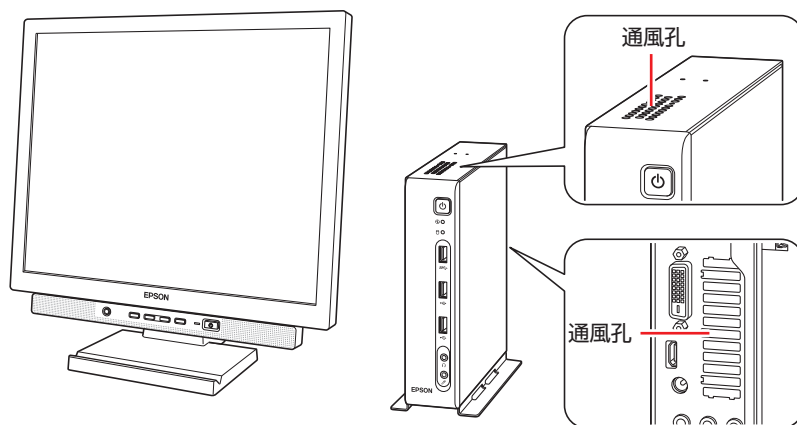
制限

本機の上に載せられるディスプレイの重さは7kgまでです。7kgより重いディスプレイは載せないでください。またディスプレイのスタンド部分が本機の上に収まらない場合やディスプレイが不安定になる場合は、ディスプレイを本機の上に載せないでください。

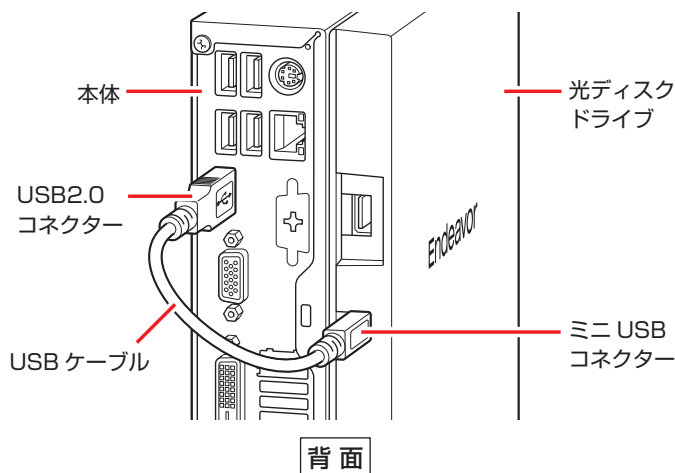
2 本機とディスプレイを設置場所（丈夫で水平な台の上など）に置きます。

通風孔をふさがないように設置してください。

以降の手順は、本機を縦置きにした状態で説明します。



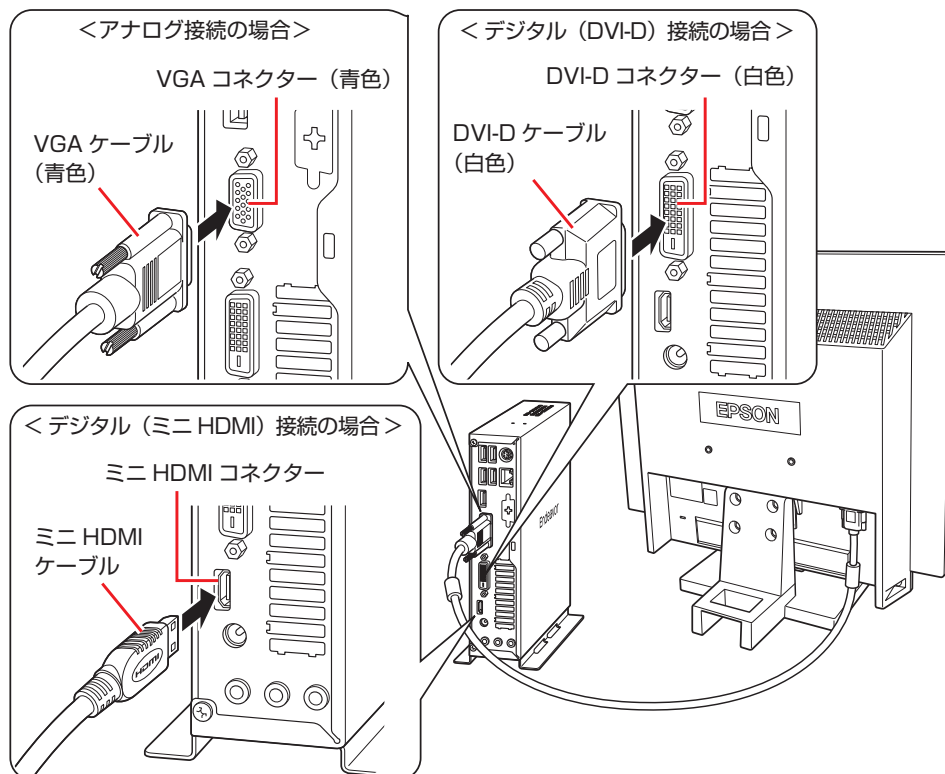
3 光ディスクドライブをオプション購入された場合は、本体と光ディスクドライブを、添付の USB ケーブルで接続します。



4 ディスプレイのケーブルを本機のコンネクターに接続します。


ディスプレイに複数のケーブルが添付されている場合は、どれか1本を選択し接続してください。

推奨は、① ミニ HDMI (画像+音声)、② DVI-D、③ VGA の順です。デジタル接続 (ミニ HDMI、DVI-D) は、アナログ接続 (VGA) よりも、画像が鮮明に表示されます。



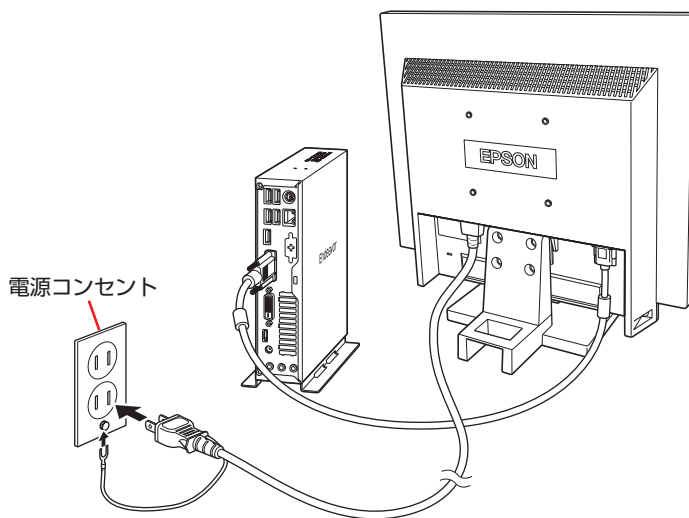
3 台のディスプレイに画面表示する場合は、3 つのコンネクターにディスプレイをそれぞれ接続します。また、HDMI 接続したディスプレイから音声を出力するには、音声出力先の設定が必要な場合があります。

3 画面の切り替え方法や音声出力先の設定方法は、次の場所をご覧ください。

 「PC お役立ちナビ」 - 「マニュアルびゅーわ」 - 「機種名」 - 「ユーザーズマニュアル」 - 「画面表示機能」 および 「サウンド機能」

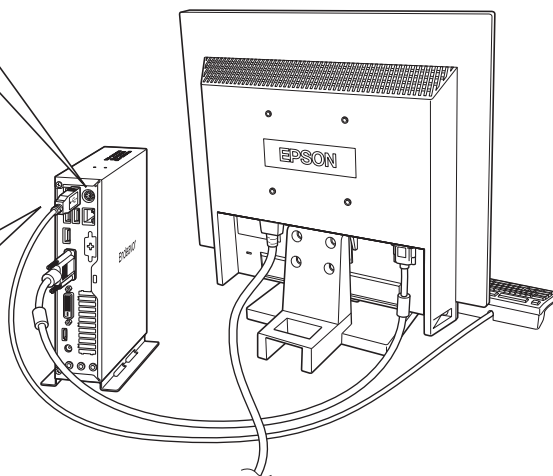
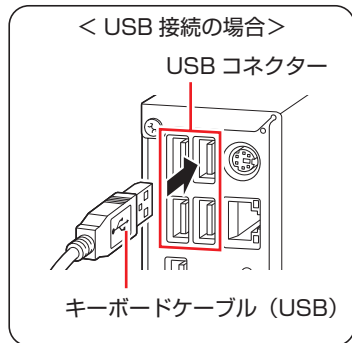
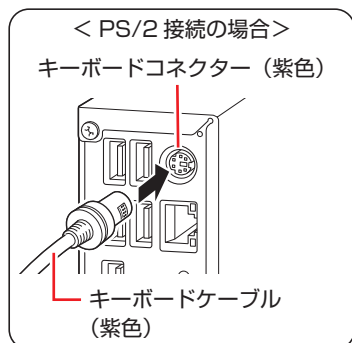


- 5** ディスプレイに同梱の電源コードを、ディスプレイと家庭用電源コンセントに接続します。



- 6** キーボードを接続します。
ここでは一般的な接続方法を説明します。

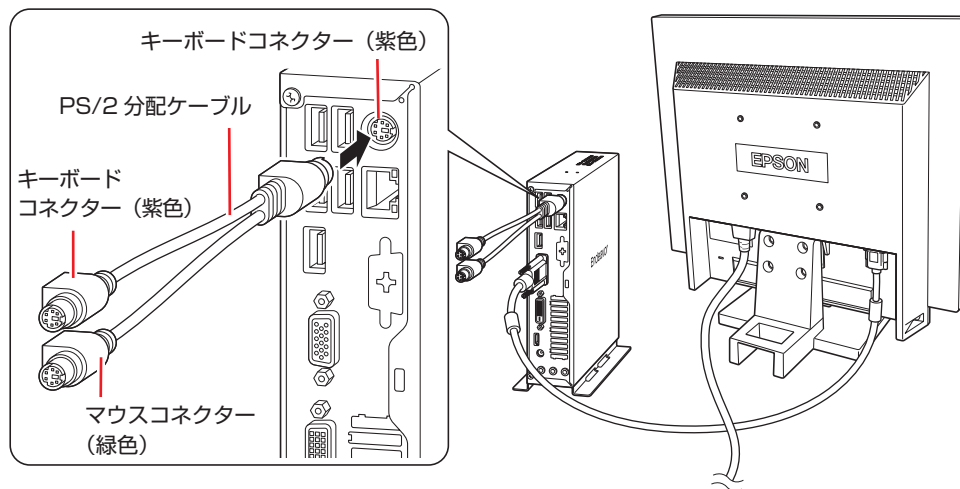
※ コードレスキーボードの場合は、別冊子をご覧ください。



- ※ USB キーボードは USB2.0 コネクタに接続することをおすすめします。
※ キーボードは操作しやすい位置に置き、傾斜させるときはキーボード底面の両端の脚を起こします。

PS/2 分配ケーブル (オプション) を使用する場合

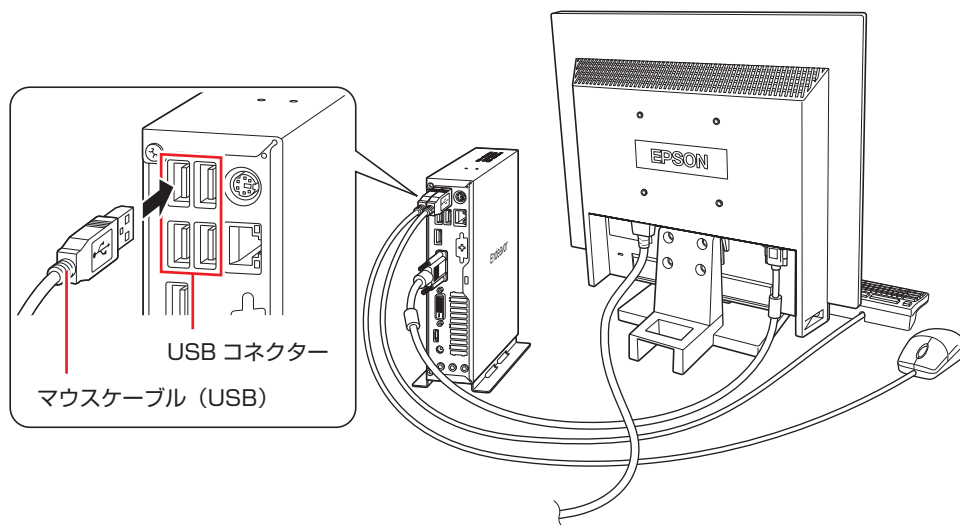
オプションで PS/2 分配ケーブルを購入された場合は、キーボードコネクタに接続してください。PS/2 機器を 2 つ (キーボードとマウス) 接続できるようになります。



7 マウスを接続します。

ここでは一般的な接続方法を説明します。

※ コードレスマウスの場合は、別冊子をご覧ください。



※ USB マウスは USB2.0 コネクタに接続することをおすすめします。

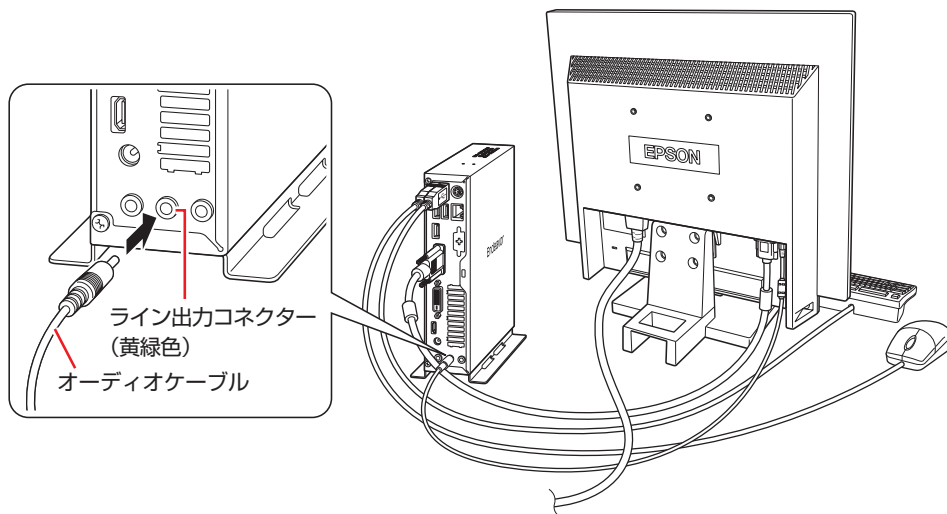
！ 制限

- PS/2 マウスは直接本機に接続できません。PS/2 マウスを接続する場合は、オプションの PS/2 分配ケーブルを使用してください。
- 本機が省電力状態や電源を切った状態であっても、マウスによっては底面のランプが光り続けます。これは、お使いのマウスの仕様です。

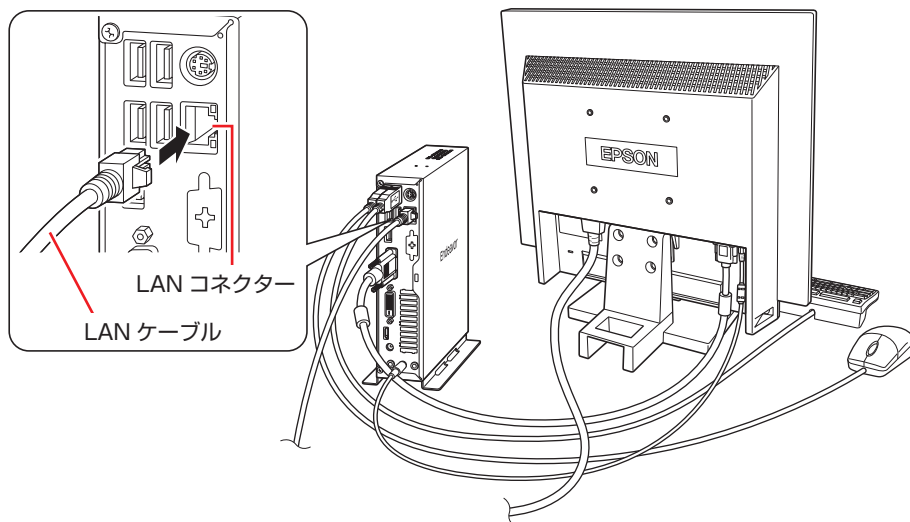


- 8** 本機にスピーカーは内蔵されていません。音声を出力する場合は、ディスプレイやスピーカーのオーディオケーブルを、本機背面のライン出力コネクタ（黄緑色）に接続します。


詳しくはディスプレイやスピーカーに添付のマニュアルをご覧ください。

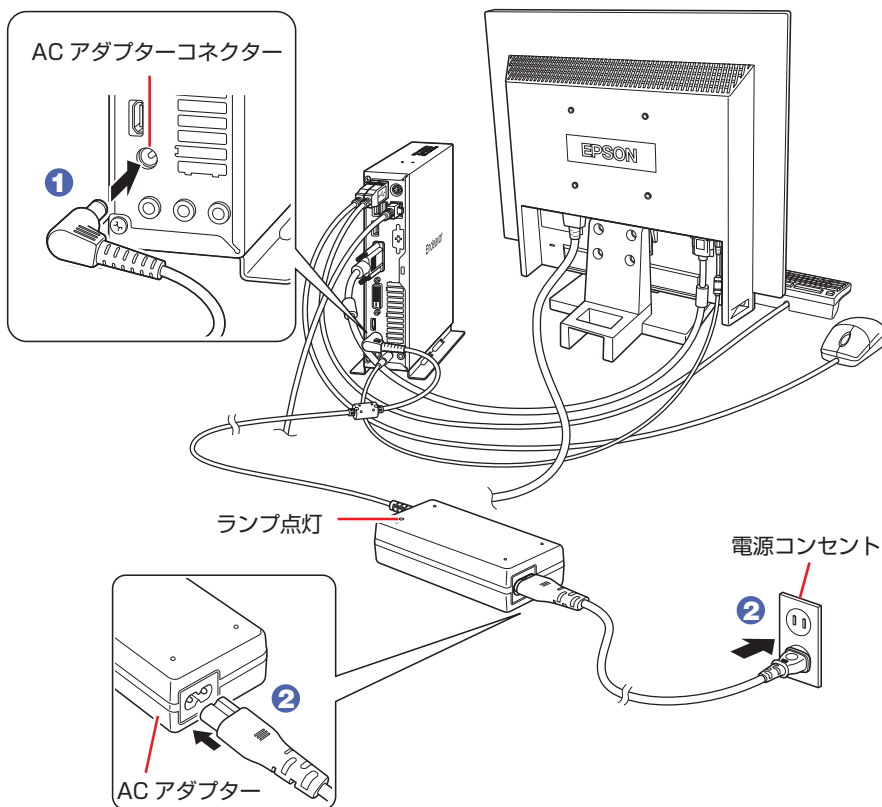


- 9** ネットワークを使用する場合は、市販のLANケーブルを本機背面のLANコネクタ（品）に接続します。



10 本機に同梱の電源コード / AC アダプターを、本機と家庭用電源コンセントに接続します。

- 1 AC アダプターのプラグ部を本機背面の AC アダプターコネクター () に接続します。
プラグ端子部が見えなくなり、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込みます。
- 2 電源コードを AC アダプターと家庭用電源コンセントに接続します。



続いて、Windows のセットアップを行います。

4 Windows をセットアップする

本機の電源を入れて、Windows を使用できる状態にするまでの手順を説明します。

！ 制限

< Bluetooth 機能搭載時 >



本機は購入時、電源を入れると自動的に無線機能（Bluetooth）がオンになり、電波が発生します。

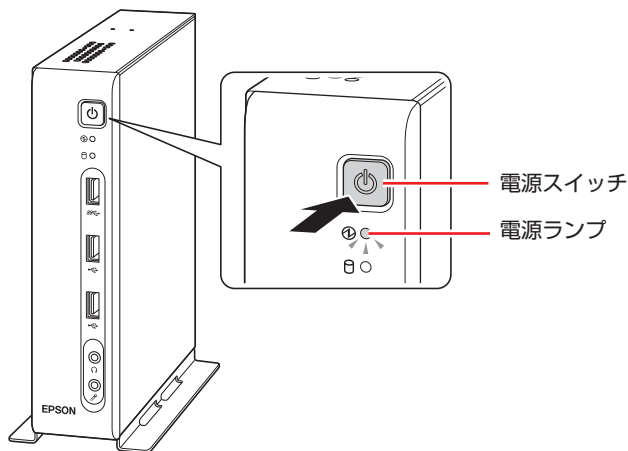
航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を入れないでください。

無線機能に関する注意事項の詳細は  p.27 「安全にお使いいただくために」をご覧ください。

1 ディスプレイやスピーカーなどの電源を入れます。

2 本機の電源を入れます。

電源スイッチ（）を押すと、電源ランプ（）が緑色に点灯します。



画面に「EPSON」と表示され、しばらくすると Windows のセットアップ画面が表示されます。



<イメージ>

📖 参考

画面が表示されないときは

本機とディスプレイのケーブル類は正しく接続されているか、ディスプレイの電源が入っているか、確認してください。また、ディスプレイ側に表示の切り替え機能がある場合は、表示を切り替えてみてください。

3 Windows のセットアップを行います。

画面の指示に従って、セットアップを行ってください。
セットアップの流れは、次のとおりです。

Windows のセットアップ

「国または地域」、「時刻と通貨の形式」、「キーボードレイアウト」を確認し、「次へ」をクリックします。



新しいアカウントのユーザー名と、コンピューターをネットワーク上で識別するためのコンピューター名を入力してください

ユーザー名、コンピューター名を入力し、「次へ」をクリックします。

※ ユーザー名、コンピューター名は半角英数字を入力してください。

※ コンピューター名は、本機をネットワーク（家庭内 LAN や社内 LAN）に接続して使用する場合などに必要です。ネットワーク上にあるほかのコンピューター名と重複しないように、コンピューター名を変更してください。



ユーザーアカウントのパスワードを設定します

パスワード（任意）を入力し、「次へ」をクリックします。

※ パスワードは必要に応じて入力してください。パスワードを設定したユーザー名（アカウント）でのログオン時に、パスワードの入力が要求されます。設定したパスワードは、絶対に忘れないようにしてください。



ライセンス条項をお読みになってください

画面に表示された内容を確認し、「ライセンス条項に同意します」（2箇所）にチェックを付けて、「次へ」をクリックします。



コンピューターの保護と Windows の機能の向上が自動的に行われるように設定してください

更新の設定を選択してクリックします。

「推奨設定を使用します」を選択することをおすすめします。



日付と時刻の設定を確認します

「タイムゾーン」が「大阪、札幌、東京」になっていることを確認し、「日付」、「時刻」を設定して、「次へ」をクリックします。



ワイヤレスネットワークへの接続

無線 LAN 機能（オプション）がオンになっている場合、表示されます。

設定は後で行うため、「スキップ」をクリックします。



お使いのコンピューターの現在の場所を選択してください

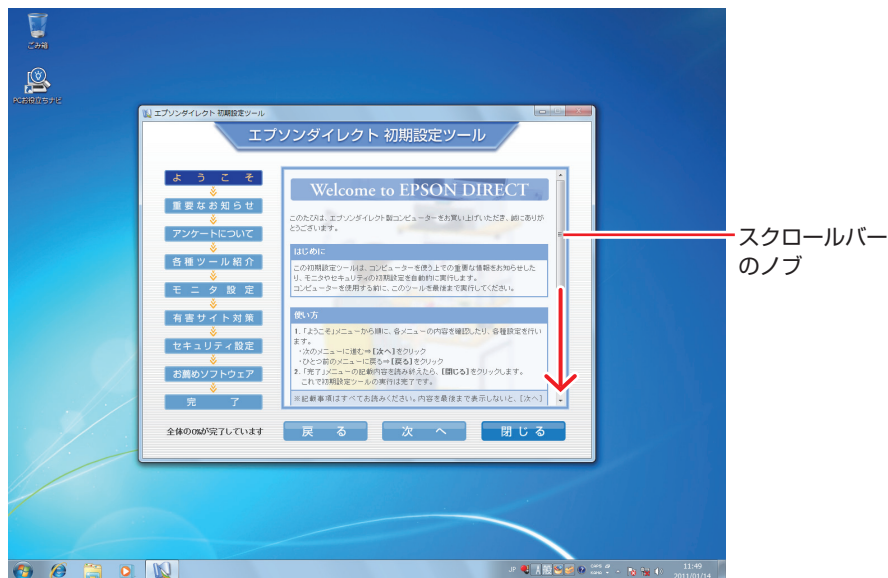
ネットワークに接続している場合、表示されます。

使用する場所を選択します。



4 デスクトップに「初期設定ツール」が表示されたら、画面に従って、添付されているソフトウェアのインストールなどを行います。

画面の記載事項はすべてお読みください。スクロールバーのノブを一番下まで移動させて、すべての内容を表示させないと、[次へ] がクリックできません。



<イメージ>

これでコンピューターを使用できます。

続いて、セットアップ後の作業を行います。



● ライセンス認証

購入時に本機にインストールされている Windows や、「Windows 7 リカバリー DVD」から再インストールを行った Windows は、ライセンス認証を行う必要はありません。



● 「初期設定ツール」が起動しないときは



初期設定ツールが自動的に起動しない場合や、初期設定ツールを再実行したい場合は、次の場所から起動することができます。

[スタート] - 「すべてのプログラム」 - 「初期設定ツール」

省電力状態からの復帰方法

本機は、一定時間操作をしないと省電力機能が働いて、画面表示が消えるように設定されています。省電力状態からの復帰は、次の方法で行ってください。

省電力状態	電源ランプの表示	復帰方法
ディスプレイの電源切	点灯（緑色）	マウスやキーボードを操作する
スリープ	点灯（オレンジ色）	<ul style="list-style-type: none">●電源スイッチを押す●USB キーボードを操作する●USB マウスでクリックする●PS/2 キーボードの  キー*を押す
休止状態	消灯	<ul style="list-style-type: none">●電源スイッチを押す●PS/2 キーボードの  キー*を押す

* 106 PS/2 コンパクトキーボード（ホットキー付）にのみ搭載されています。PS/2 キーボードの場合、設定を変更すると、 +  でも起動できます。設定方法は、次の場所をご覧ください。



「PC お役立ちナビ」－ [マニュアルびゅうわ] － 「機種名」－ 「ユーザーズマニュアル」－ 「キーボードを使う」－ 「PS/2 キーボードからの起動」



制限

一度電源コードを抜いて接続しなおした場合、キーボード操作による起動ができなくなることがあります。

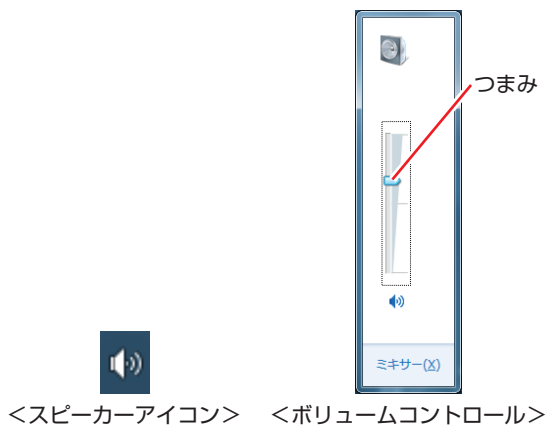
5 セットアップ後の作業

Windows のセットアップと初期設定ツールの設定が完了したら、次の作業を行います。

音量の調節

スピーカーを接続していて、Windows 起動時に音が鳴らなかったり、音が小さすぎたり、大きすぎたりする場合は、次の方法で音量を調節します。

画面右下の通知領域に表示されている「スピーカー」アイコン(白色)をクリックすると、「ボリュームコントロール」が表示されます。つまみを上下にドラッグして調節します。



Windowsの操作方法を確認する

Windows の操作方法は、次の場所をご覧ください。

[スタート] - 「ヘルプとサポート」

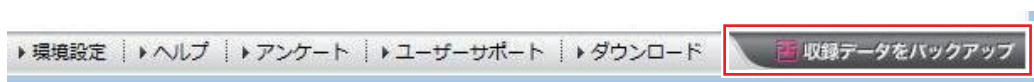
 「PC お役立ちナビ」 - 「お役立ち」

マニュアルデータをバックアップする


サポートツール「PC お役立ちナビ」に収録されているマニュアルは、Windows を再インストール (リカバリー) すると、消えてしまいます。あらかじめバックアップを行ってください。

バックアップ方法

空の光ディスクメディアや USB 記憶装置をセットしてから、PC お役立ちナビ画面右下の [収録データをバックアップ] をクリックします。以降は画面の指示に従ってバックアップを行ってください。



バックアップの詳細手順は、次の場所をご覧ください。

 「PC お役立ちナビ」 - 画面下 [ユーザーサポート] - FAQ 番号 : 28299

インターネットに接続する

インターネットへの接続は、プロバイダーから提供されたマニュアルを参照して行ってください。ネットワーク機能（有線 LAN）や無線 LAN 機能（オプション）を使用するには、ネットワークに関する情報が必要です。



「PC お役立ちナビ」－「マニュアルビューワ」－「機種名」－「ユーザーズマニュアル」－「ネットワーク機能（有線 LAN）」および「無線 LAN 機能（オプション）」

※ 外部ネットワークに接続する際は、電気通信事業法に基づく認証機器に接続してください。

無線 LAN 機能（オプション）をオンにする

オプション選択された場合、本機には無線 LAN 機能が搭載されています。購入時、本機の無線 LAN 機能はオフになっています。無線 LAN を使用するときは、次の手順で無線 LAN 機能をオンにします。

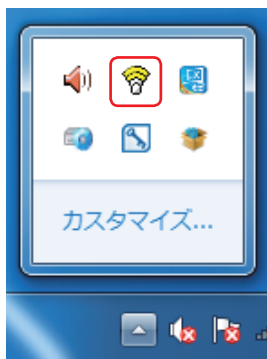
- 1 通知領域の [△]－「Intel(R) PROSet/Wireless Framework」アイコンをクリックします。



- 2 表示された項目から「WiFi オン」を選択します。



無線 LAN 機能がオンになり、アイコンが黄色に変わります。



無線 LAN への接続は「WiFi 接続ユーティリティ」を使用して行います。接続方法は次の場所をご覧ください。



「PC お役立ちナビ」－「マニュアルびゅうわ」－「機種名」－「ユーザーズマニュアル」－「無線 LAN 接続の設定をする」

Web ページの閲覧

Web ページの閲覧には、「Internet Explorer」を使用します。
Internet Explorer は、デスクトップ左下のアイコンから起動してください。



<Internet Explorer アイコン>

セキュリティー対策

インターネットに接続する場合は、必ずセキュリティー対策を行ってください。




「PC お役立ちナビ」－「マニュアルびゅうわ」－「機種名」－「ユーザーズマニュアル」－「インターネットを使用する際のセキュリティー対策」

「ユーザーズマニュアル」では、以下のセキュリティー機能について記載しています。

- Windows Update
- セキュリティーソフトウェア（マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版）
- Web フィルタリングソフトウェア（i-フィルター 30 日版）

マカフィー・PC セキュリティセンターのユーザー登録

マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版を使用するには、インストール後にユーザー登録が必要です。インターネットに接続後、画面右下、通知領域の McAfee アイコン（）をダブルクリックして、ユーザー登録を行ってください。

※ McAfee アイコンが表示されていない場合は、本機を再起動してください。



制限

ユーザー登録を行わないと、製品の更新ができません。また、サポートセンターへの問い合わせにもユーザー登録が必要です。登録しないまま 2 週間以上経過すると、ソフトウェアの自動更新が停止し、最新のセキュリティで保護されなくなります。

メールの設定をする

電子メールの利用には、「Windows Live メール」を使用します。



参考

Office をインストールしているときは

Office をインストールしている場合は、メールソフト Outlook を使用することもできます。Outlook の使用方法は、Outlook のヘルプをご覧ください。

Windows Live メール の使用方法

Windows Live メールは次の場所から起動します。

【スタート】 - 【すべてのプログラム】 - 【Windows Live メール】

メールアドレスの設定画面が表示されたら、画面の指示に従ってメールアドレスなどの情報を入力します。必要に応じて、プロバイダーから提供されたマニュアルをご覧ください。メールアドレスの追加や変更は、画面上部の「アカウント」 - 「電子メール」または「プロパティ」で行うことができます。

Windows Live メールの詳細な使用法は、次の場所をご覧ください。

画面右上の「オンラインヘルプ」



【PC お役立ちナビ】 - 【お役立ち】

Windows Live ポータルサイト (<http://windowslive.jp.msn.com/>)

古いコンピューターからデータを移す

今までお使いのコンピューターのデータ（メールデータやアドレス帳、Internet Explorer のお気に入りなど）を本機へ移す方法は、次の場所をご覧ください。



【PC お役立ちナビ】 - 【お役立ち】 - 【目的から選ぶ】 - 【購入後の設定】 - 【Windows XP / Windows Vista のデータを Windows 7 に転送する】

ソフトウェアをインストールする

ソフトウェアを使用する場合は、ソフトウェアのマニュアルを参照してインストールを行ってください。

周辺機器を接続する

プリンターなどの周辺機器を使用する場合は、周辺機器に添付のマニュアルを参照して接続を行ってください。

Windowsやソフトウェアをアップデートする

Windows やソフトウェアは、アップデートして最新の状態でお使いください。

※ アップデートをするにはインターネットへの接続が必要です。

● Windows

自動更新の設定がされていると、更新プログラムが自動的にダウンロード、インストールされ、最新の状態になります。



「PC お役立ちナビ」－「マニュアルびゅうわ」－「機種名」－「ユーザーズマニュアル」－「インターネットを使用する際のセキュリティー対策」

● ソフトウェア

アップデート方法は、ソフトウェアのヘルプやマニュアルをご覧ください。

システムイメージを保存する

事前にシステムイメージを保存しておく、なんらかの原因で Windows が起動しなくなった場合、Windows やソフトウェアを、システムイメージ保存時の状態まで一度にリカバリーすることができます。

不具合発生時に回復できるように、システムイメージを保存しておくことをおすすめします。

保存方法は、次の場所をご覧ください。



「PC お役立ちナビ」－「お役立ち」－「カテゴリから選ぶ」－「Windows の操作」－「バックアップ」－「システムイメージの作成」を使ってバックアップを行う方法

電源を切る



制限

- HDD アクセスランプ点滅中に本機の電源を切ると、収録されているデータが破損するおそれがあります。
- 本機は、電源を切っていても、電源プラグがコンセントに接続されていると、微少な電流が流れています。本機の電源を完全に切るには、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 本機が省電力状態や電源を切った状態であっても、マウスによっては底面のランプが光り続けます。これは、お使いのマウスの仕様です。

本機の電源を切る（シャットダウンする）方法は、次のとおりです。

1 「スタート」－「シャットダウン」をクリックします。

Windows が終了し、自動的に電源が切れます。

2 ディスプレイなど、接続している周辺機器の電源を切ります。



参考

シャットダウン時の注意

Windows を複数のユーザーが使用している状態で電源を切ろうとすると、「ほかの人がこのコンピューターにログオンしています。…」と画面に表示されます。この場合は、[いいえ] をクリックし、ログオンしているすべてのユーザーをログオフしてからシャットダウンしてください。

次回電源を入れるときは

本機の電源を入れる際は、次の点に注意してください。



制限

- 周辺機器の電源をいつ入れるかは、周辺機器のマニュアルで確認してください。電源を入れるタイミングがコンピューターより先か後かは、周辺機器により決まっています。
- USB フラッシュメモリーや USB HDDなどを接続している状態で本機の電源を入れると、Windows が起動しないことがあります。USB 記憶装置の接続は、Windows 起動後に行ってください。USB 記憶装置を接続した状態で Windows を起動したい場合は、次をご覧ください。

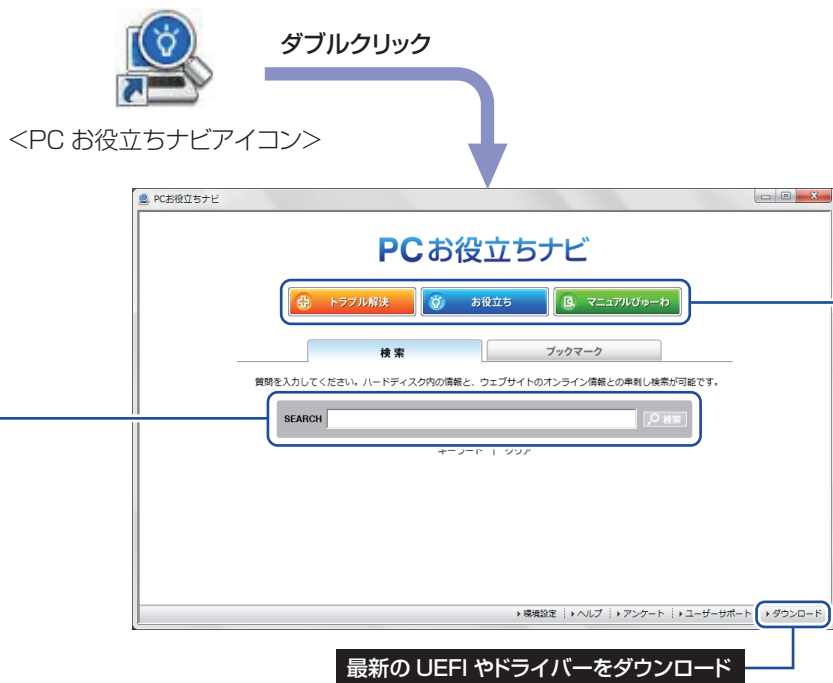


「PC お役立ちナビ」－「マニュアルびゅうわ」－「機種名」－「ユーザーズマニュアル」－「起動 (Boot) デバイスの順番を変更する」

- 電源を入れなおすときは、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。電気回路に与える電氣的な負荷を減らして、HDD などの動作を安定させます。
- 一度電源コードを抜いて接続しなおした場合、キーボード操作による起動ができなくなることがあります。

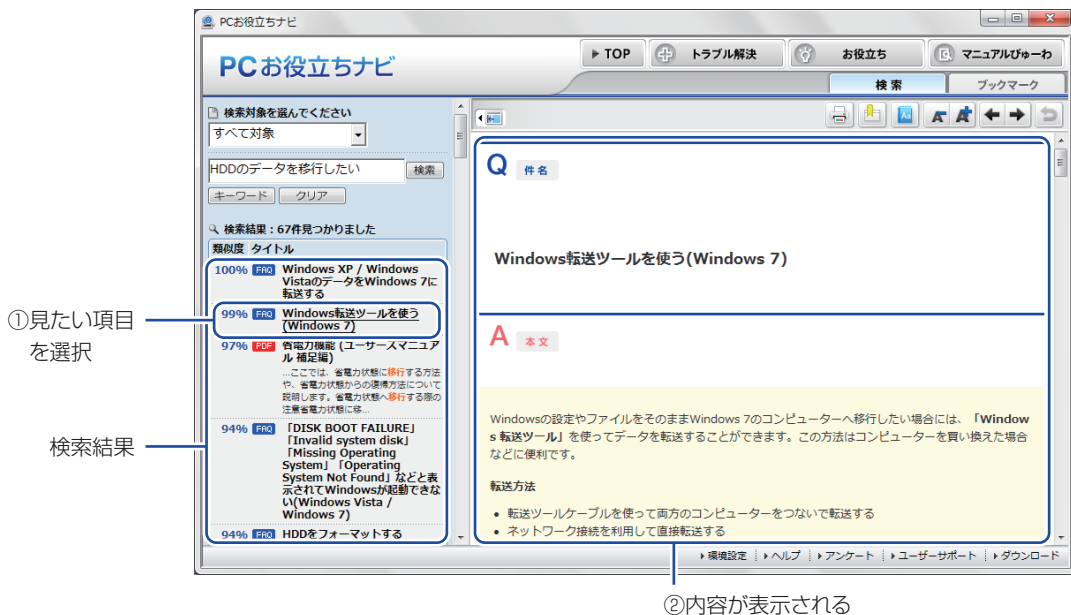
6 PC お役立ちナビを使う

本機には、知りたい情報を簡単に検索できるサポートツール「PC お役立ちナビ」が搭載されています。困ったときや、役立つ情報を知りたいときなどにお使いください。最新のUEFIやドライバーもダウンロードできます。



- ① 検索をする
- TOPページから検索実行
- 本機に収録されている情報+ユーザーサポートページのオンライン情報を一度に検索

※本機に収録されている情報 = サポートコンテンツ・マニュアル (PDF) ・ヘルプなど
※インターネットに接続していない場合は、本機に収録されている情報のみを検索します。



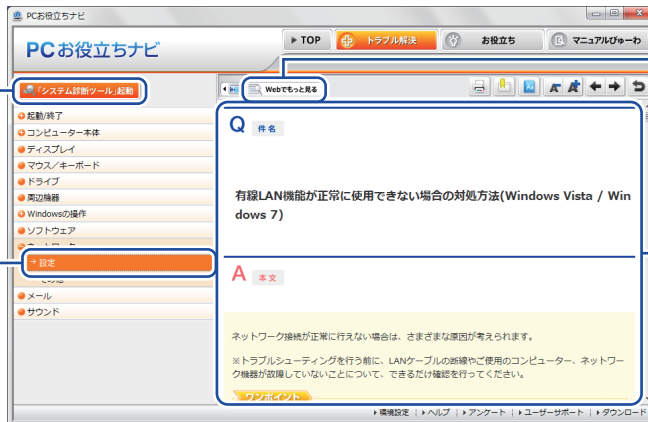
② おすすめコンテンツ・マニュアルを見る

トラブル解決

トラブル解決に役立つ情報や、システム診断ツールを収録しています。

システム診断
を実行

①トラブルの種類
を選択



もっと情報が見たい
とき→Webへ

②内容が表示される

お役立ち

コンピューターの便利な使い方や、役立つ情報を収録しています。

①情報の分類を
選択

②見たい項目を
選択



もっと情報が見たい
とき→Webへ

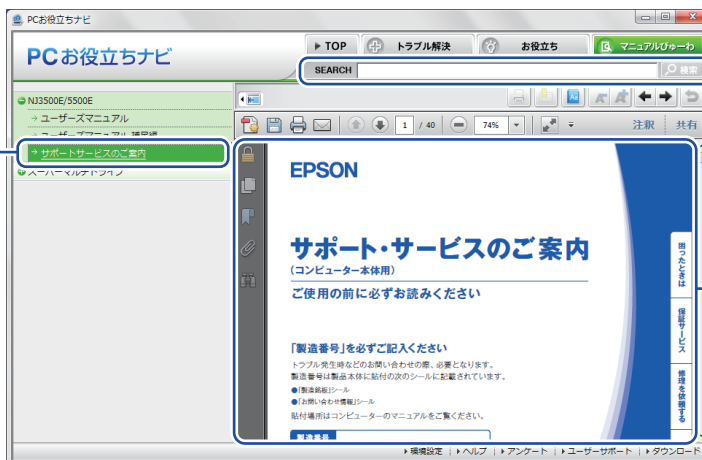
[お役立ち] 内の
情報を検索

③内容が表示される

マニュアルびゅう

本機に添付されているマニュアルの PDF データを収録しています。

①見たいマニュアル
を選択



[マニュアルびゅう]
内の情報を検索

②マニュアル(PDF)
が表示される

<イメージ>

7 ユーザーサポートページ

当社では、コンピューターを安心してお使いいただけるよう、ホームページ上で各種サポート情報を提供しています。

トラブル解決方法や技術情報を見る → FAQ Search

※ 「PC お役立ちナビ」からも同様の検索ができます。

最新のUEFI / ドライバー / マニュアルをダウンロードする → ダウンロード

※ 「PC お役立ちナビ」右下の「ダウンロード」からもアクセスできます。

修理のご案内や保守・保証情報を見る → アフターサービス

アクセス方法

ユーザーサポートページへは、次の場所からアクセスできます。

- <http://www.epsondirect.co.jp/support/>
- 「PC お役立ちナビ」右下の「ユーザーサポート」
- Internet Explorer 「お気に入り」内の「サポートページ (パソコン)」



The screenshot shows the Epson Direct SHOP user support page. On the left, there is a sidebar with a list of links, including 'サポートページ (パソコン)' which is circled in red. The main content area is titled 'Epson Direct SHOP ユーザーサポート' and features a navigation bar with 'サポートトップ', '調べる', 'ダウンロード', 'アップグレード', '修理する', '各種サービスメニュー', 'サイトマップ', and 'オンラインショップ'. Below the navigation bar, there is a 'FAQ Search' section with a search box and a '表示' button. The search results are organized into tabs: '製品名から検索', '製造番号から検索', and 'FAQランキング/新着FAQ'. The '製品名から検索' tab is active, showing a search form with a '選択' button, a 'タイプ' dropdown menu (set to 'コンパクトPC'), a 'シリーズ' dropdown menu (set to 'Endeavor ST'), a 'モデル' dropdown menu (set to 'ST150E'), and a 'お使いのOS' dropdown menu. There is also a 'フリーワード検索(任意)' input field and a '検索' button. The right sidebar contains sections for 'ダウンロード' (BIOS/ドライバー等, マニュアル, 壁紙), '機種/OS情報' (製品仕様, OSアップグレード技術情報, Windows XPダウンロード情報, Service Pack情報), and 'アフターサービス' (保守・保証, Web修理受付, メールサポート).

<画面はイメージです>


8 安全にお使いいただくために

このマニュアルおよび製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示が使われています。



その表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 障害や事故の発生を防止するための禁止事項の内容を表しています。

	製品の取り扱いにおいて、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
---	-------------------------------------

- 障害や事故の発生を防止するための指示事項の内容を表しています。

	必ず行う事項（指示、行為）を示しています。
	電源プラグをコンセントから必ず抜くことを示しています。

警告

電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。

取り扱いを誤ると、火災の原因となります。

- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。
- 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしない。
- コンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らず、電源プラグを持つ。

電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて、刃の根元や刃と刃の間を清掃してください。



電源コードのたこ足配線はしないでください。

発熱し、火災の原因となります。

家庭用電源コンセント（交流 100V）に接続してください。



本機には、必ず同梱された電源コード / AC アダプターを使用してください。また、本機の電源コード / AC アダプターは、他の製品に使用しないでください。

感電・火傷・火災の原因となります。

警告

破損した電源コード、ケーブルを使用しないでください。感電・火災の原因となります。
電源コードやケーブルを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源コードやケーブルを加工しない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- 電源コードやケーブルの上に重い物を載せない。
- 発熱器具の近くに配線しない。
- 電源コードやケーブルを束ねた状態で使用しない。

電源コードやケーブルが破損したら、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、[別冊](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。



本機は、次のような異常状態のまま使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。

- 異臭や異音がしたり、発煙したりしている。
- 触れないほど熱い。
- 割れや変形があるなど、破損している。

万一、異常状態になった場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。それからカスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、[別冊](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。

お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。



通風孔など開口部から、本機内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。

感電・火災の原因となります。



水のかかる場所で使用したり、本機の上に水などの入った容器を置いたりしないでください。水などの液体や異物が本機内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

万一、本機内部に水などの液体が入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。それからカスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、[別冊](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。



光ディスクドライブ搭載の場合、光ディスクドライブで、ひび割れや変形補修したメディアを使用しないでください。

飛び散って、けがをするおそれがあります。



本機の分解・改造や、マニュアルで指示されている以外の増設・交換はしないでください。けが・感電・火災の原因となります。



装置の増設・交換などで本機のカバーを開けるときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを接続したまま作業すると、感電や火傷の原因となります。

警告



アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物質または可燃性ガスのある場所では使用しないでください。

また、本機の内部や周囲で可燃性ガス含有のスプレーを使用しないでください。
火災の原因となります。



付属の AC アダプターを、分解・改造しないでください。

感電や火傷の被害の原因となります。

分解・改造した AC アダプター（当社での修理対応は除く）での本機の使用は、安全性や製品に関する保証ができません。



航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を切るか、無線機能（無線 LAN・Bluetooth・WiMAX など）の電波を停止してください。

電波が電子機器や医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。

また、本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切ってください。



医療機関の屋内で無線機能（無線 LAN・Bluetooth・WiMAX など）を使用するときは、次のことを守ってください。

- ・手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視室（CCU）には、本機を持ち込まない。
- ・病棟内では、本機の電源を切るか電波を停止する。
- ・病棟以外の場所でも、付近に医療用電気機器がある場合は、本機の電源を切るか電波を停止する。
- ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。
- ・本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切る。



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している場合、無線機能（無線 LAN・Bluetooth・WiMAX など）を使用するときは、装着部と本機の間を 22cm 以上離してください。

電波が、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を及ぼす場合があります。

満員電車など、付近に心臓ペースメーカーを装着している人がいる可能性がある場所では、本機の電源を切るか電波を停止してください。



無線機能（無線 LAN・Bluetooth・WiMAX など）は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

注意



小さなお子様の手の届く所に設置、保管しないでください。

落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。



不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。

落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。

⚠ 注意



湿気やホコリの多い場所に置かないでください。
感電・火災の原因となります。



本機の通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
設置する際は、次の点を守ってください。
・押し入れや本箱など風通しの悪いところに設置しない。
・じゅうたんや布団の上などに設置しない。
・毛布やテーブルクロスのような布をかけない。



交流 100V 以外の電源は、使用しないでください。
交流 100V 以外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。



各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。
配線を誤ると、火災の原因となります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、電源プラグをさわらないでください。
感電の原因となります。



装置の増設・交換は、本機の内部が高温になっているときには行わないでください。火傷のおそれがあります。
本機の電源を切って 10 分以上待ち、内部が十分冷めてから作業を行ってください。



オプティカルマウスの場合、マウス底面にある光学式センサーの光を直接見つめないでください。また、レーザーマウスの場合は、マウス底面から目に見えないレーザーが出ています。マウス底面は見つめないでください。
視覚障害の原因となります。



光ディスクドライブ搭載の場合、本機にはレーザーの国際規格 IEC60825-1 で定められた、クラス 1 レーザー装置として分類され、その安全基準を満たした光ディスクドライブが搭載されています。
しかしながら、ドライブを分解すると、クラス 1 を超えるレーザーがドライブ外部に出力されることがあります。
ドライブを分解したり、動作中にドライブ内部をのぞきこまないでください。
レーザー被曝による失明や皮膚などの障害の原因となります。



ヘッドホンやスピーカーは、ボリュームを最小にしてから接続し、接続後に音量を調節してください。
ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量が聴覚障害の原因となります。



長時間または不自然な姿勢でのコンピューター操作は避けてください。
肩こり、腰痛、目の疲れ、腱鞘炎などの原因となります。

⚠ 注意



小さなお子様の手の届く場所で、内蔵リチウム電池の着脱、保管をしないでください。
飲み込むと化学物質による被害の原因となります。
万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。



本機を移動する場合は、電源を切り、本機からすべての配線を取り外してください。
コード（ケーブル）などが破損し、火災・感電の原因となります。また、コード（ケーブル）
などが引っかかり、けがの原因となります。



連休や旅行などで本機を長期間使用しないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。



AC アダプターに強い衝撃や振動を与えたり、乱暴に扱ったりしないでください。また、破
損した AC アダプターを使用しないでください。
感電・火傷の原因となったり、発熱・発火・破裂のおそれがあります。
万一、本機の落下などで強い振動や衝撃が加わり、AC アダプターが破損したり、変形したり
した場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、本機から AC アダプター
を取り外してください。



AC アダプターを毛布や布団で覆わないでください。
火傷・火災のおそれがあります。



AC アダプターにケーブルや電源コードを巻き付けしないでください。
AC アダプターが高温になり、火傷のおそれがあります。



AC アダプターの温度の高い部分に、長時間直接触れないでください。
低温火傷の原因となります。

9 機能仕様一覧

型番	ST170E		
CPU	プロセッサ	購入時の選択による	
	ソケット	Socket G3	
チップセット	モバイル インテル HM87 Express		
UEFI	AMI UEFI		
メインメモリー*1	メモリー	PC3L-12800 (DDR3L-1600 SDRAM)	
	搭載可能容量 (最大)	Windows 7 32bit 版	4GB (システム上利用できるのは約 3GB まで)
		Windows 7 64bit 版	16GB
スロット	SODIMM スロット (204 ピン) × 2 (同容量 2 枚 1 組で使用の場合、デュアルチャンネルで動作)		
ビデオ機能 (CPU 内蔵)	コントローラー	CPU による	
	メモリー (メインメモリーと共用)	Windows 7 32bit 版	メインメモリー 2GB 時最大 776MB メインメモリー 4GB 時最大 1560MB
		Windows 7 64bit 版	メインメモリー 2GB 時最大 783MB メインメモリー 4GB 以上時最大 1696MB
表示解像度 (最大)*2	1600 × 1200、1920 × 1200 (ワイドディスプレイ接続時のみ) True Color 32 ビット (約 1,677 万色)		
HDD	シリアル ATA300 または 600MB/s 対応 2.5 型 HDD (容量、台数は購入時の選択による)		
光ディスクドライブ (オプション)	シリアル ATA 対応 スリム光ディスクドライブ (種類は購入時の選択による)		
サウンド機能	インテル ハイ・ディフィニション・オーディオ対応 Realtek 製 ALC662 コントローラー		
ネットワーク機能	1000Base-T/100Base-TX/10Base-T 対応 インテル製 i217V コントローラー		
有線 LAN 増設ポート (オプション)	1000Base-T/100Base-TX/10Base-T 対応 Realtek 製 RTL8111G コントローラー		
無線 LAN / Bluetooth (オプション)	Intel Dual Band Wireless-AC 7260 + Bluetooth [WiFi CERTIFIED] モジュール Intel Dual Band Wireless-AC 7260 [WiFi CERTIFIED] モジュール		
マウス / キーボード	購入時の選択による		
インタフェース	USB2.0	5 (前面 × 2、背面 × 3)	
	USB3.0	3 (前面 × 1、背面 × 2)	
	LAN	1 または 2 : RJ-45	
	サウンド	前面 : ヘッドホン出力 × 1、マイク入力 × 1 背面 : ライン入力 × 1、ライン出力 × 1、マイク入力 × 1	
	ディスプレイ	3 : ミニ HDMI × 1、DVI-D (24 ピン) × 1、VGA (ミニ D-SUB 15 ピン) × 1	
	キーボード	1 : PS/2 互換 ミニ DIN 6 ピン	
ドライブベイ	2.5 型 HDD 用	2	
セキュリティチップ (TPM)	TPM 1.2 対応 Infineon SLB9655TT1.2 コントローラー		
外形寸法 (幅 × 奥行 × 高さ)	45 × 185 × 195 mm 75 × 185 × 203 mm (スタンド装着時)		
質量 (基本構成時)	約 1.2kg (スタンド装着時 : 約 1.3kg)		
電源	AC アダプター*3 (ADP-90CD CB)	入力: AC100 ~ 240V ± 10% (50/60Hz)、1.5A 出力: DC 19V、4.74A、90W 質量 : 約 452g (電源コード含む)	
消費電力 (最大定格出力時)	105.9W (理論値)		
動作環境	動作温度 : 10 ~ 35℃、動作湿度 : 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)		

*1 今後、使用可能なメモリーが追加される場合があります。また、それにとまない、最大搭載可能容量が変更になることがあります。メモリーの最新情報は、当社ホームページでご確認ください。

*2 本機に搭載されたビデオコントローラーの出力解像度であり、接続するディスプレイの仕様によっては表示できない場合があります。

*3 本機に搭載されている電源コードは AC100V 用 (日本仕様) です。本製品は国内専用ですので海外でお使いの場合は保証対象外となります。

本書に記載している仕様は製品発売時の情報です。最新情報は次の場所でご覧ください。



「PC お役立ちナビ」 - 画面下 [ユーザーサポート] - FAQ 番号 : 27539

無線機能(オプション)

本機の無線機能について記載します。

< Intel Dual Band Wireless-AC 7260 + Bluetooth [WiFi CERTIFIED] モジュール選択時 >

Bluetooth

Bluetooth* の仕様は次のとおりです。

準拠規格	Bluetooth 標準規格 V4.0+EDR、LE 対応
転送速度(規格値)	3Mbps

*本製品には、電波法の規定により、工事設計認証を取得した無線設備を内蔵しています。

認証製品名：7260HMW

認証番号：003-130044

無線 LAN

無線 LAN*¹ の仕様は次のとおりです。

準拠規格	IEEE802.11ac/a/n 無線 LAN 標準プロトコル、ARIB STD-T71 IEEE802.11b/g/n 無線 LAN 標準プロトコル、ARIB STD-T66
データ転送速度 (規格値)* ²	IEEE802.11a/g：54Mbps、IEEE802.11b：11Mbps、 IEEE802.11n：300Mbps(2x) / 450Mbps(3x) / 600Mbps(4x) IEEE802.11ac：867Mbps(2x)
変調方式	DS-SS 方式、OFDM 方式
伝送距離 (理論値)* ³	IEEE802.11ac/a (54Mbps)：12m、IEEE802.11b (11Mbps)：40m、 IEEE802.11g (54Mbps)：25m
セキュリティ* ⁴	IEEE802.11ac/a/b/g：128/64bit WEP、WPA、WPA2、IEEE802.1x 認証に対応 IEEE802.11n：WPA、WPA2 (AESのみ)、IEEE802.1x 認証に対応
使用無線 チャンネル	IEEE802.11ac/a/n：36/40/44/48ch (W52)、52/56/60/64ch (W53)、100/104/ 108/112/116/120/124/128/132/136/140ch (W56) IEEE802.11b/g/n：1～13ch

*¹ 本機には、電波法の規定により、工事設計認証を取得した無線設備を内蔵しています。

認証製品名：7260HMW

認証番号：003-130044

*² 無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

*³ 屋内におけるアクセスポイントとの通信距離です。実際の距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーション、Windows などの使用条件によって短くなります。

*⁴ IEEE802.1x について、Windows Server 2012 との IEEE802.1x Radius Server (EAP-TLS 対応認証サーバー) + WPA (TKIP) の組み合わせによる認証において動作を確認しています。すべての環境下での動作を保証するものではありません。

無線 LAN

無線 LAN*1 の仕様は次のとおりです。

準拠規格	IEEE802.11a/n 無線 LAN 標準プロトコル、ARIB STD-T71 IEEE802.11b/g/n 無線 LAN 標準プロトコル、ARIB STD-T66
データ転送速度 (規格値) *2	IEEE802.11a/g : 54Mbps、IEEE802.11b : 11Mbps、 IEEE802.11n : 300Mbps(2x) / 450Mbps(3x) / 600Mbps(4x)
変調方式	DS-SS 方式、OFDM 方式
伝送距離 (理論値) *3	IEEE802.11a (54Mbps) : 12m、IEEE802.11b (11Mbps) : 40m、 IEEE802.11g (54Mbps) : 25m
セキュリティ *4	IEEE802.11a/b/g : 128/64bit WEP、WPA、WPA2、IEEE802.1x 認証に対応 IEEE802.11n : WPA、WPA2 (AES のみ)、IEEE802.1x 認証に対応
使用無線 チャンネル	IEEE802.11a/n : 36/40/44/48ch (W52)、52/56/60/64ch (W53)、100/104/ 108/112/116/120/124/128/132/136/140ch (W56) IEEE802.11b/g/n : 1 ~ 13ch

*1 本機には、電波法の規定により、工事設計認証を取得した無線設備を内蔵しています。

認証製品名 : 7260HMW

認証番号 : 003-130044


*2 無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

*3 屋内におけるアクセスポイントとの通信距離です。実際の距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーション、Windows などの使用条件によって短くなります。

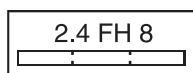
*4 IEEE802.1x について、Windows Server 2012 との IEEE802.1x Radius Server (EAP-TLS 対応認証サーバー) + WPA (TKIP) の組み合わせによる認証において動作を確認しています。すべての環境下での動作を保証するものではありません。

電波に関するご注意

無線機能選択時、本機には認証を取得した無線設備が内蔵されており、5GHz (802.11ac/a/n) または 2.4GHz (802.11b/g/n) の周波数帯を使用します。

- 本機の無線設備は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として技術基準適合証明を受けているため、本機を分解／改造しないでください。なお、日本国内でのみ使用できます。
- 5GHz (W52、W53、W56) の周波数帯は、電波法の規定により屋外では使用できません。
- 2.4GHz の周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と称す）が運用されています。
 - (1) 本機の無線設備をご使用になる前に、近くで「他の無線局」が使用されていないことを確認してください
 - (2) 万一、本機の無線設備と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所または使用無線チャンネルを変えるか、運用（電波の発射）を停止してください。
 - (3) 電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことがおきたときには、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。テクニカルセンターまでお問い合わせください。

<Bluetooth>



変調方式として GFSK 方式を採用しており、与干渉距離は 80m です。
使用無線チャンネルは変更できません。

<無線LAN>



変調方式として DS-SS および OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

MEMO

MEMO

使用限定について

本製品は、OA 機器として使用されることを目的に開発・製造されたものです。

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全性維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮頂いた上で本製品をご使用ください。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命維持に関わる医療機器、24 時間稼働システムなど極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用は意図しておりませんので、これらの用途にはご使用にならないでください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。したがって、本製品の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないこともあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬時電圧低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示)

有寿命部品について

当社のコンピューターには、有寿命部品（液晶ディスプレイ、ハードディスク、冷却用ファンなど）が含まれています。有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1 日約 8 時間、1 ヶ月で 25 日間のご使用で約 5 年です。

上記目安はあくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。

なお、長時間連続使用など、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内であっても、部品交換（有料）が必要となります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

電源の入力波形は、正弦波のみをサポートしています。

レーザー製品安全基準

＜光ディスクドライブ搭載の場合＞

本機に搭載されている光ディスクドライブは、レーザー製品の安全基準（JIS C 6802、IEC60825-1）に準拠したクラス 1 レーザー製品です。

＜レーザーマウス添付の場合＞

本機に添付されているレーザーマウスは、レーザー製品の安全基準（JIS C 6802、IEC60825-1）に準拠したクラス 1 レーザー製品です。

著作権保護法について

あなたがビデオなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

テレビ・ラジオ・インターネット放送や市販のCD・DVD・ビデオなどで取得できる映像や音声は、著作物として著作権法により保護されています。個人で楽しむ場合に限り、これらに含まれる映像や音声を録画または録音することができますが、他人の著作物を収録した複製物を譲渡したり、他人の著作物をインターネットのホームページなどに掲載（改編して掲載する場合も含む）するなど、私的範囲を超えて配布・配信する場合は、事前に著作権者（放送事業者や実演家などの隣接権者を含む）の許諾を得る必要があります。著作権者に無断でこれらの行為を行うと著作権法に違反します。

また、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

パソコン回収について



当社では、不要になったパソコンの回収・再資源化を行っています。

PCリサイクルマーク付きの当社製パソコンおよびディスプレイは、ご家庭から廃棄する場合、無償で回収・再資源化いたします。

パソコン回収の詳細は下記ホームページをご覧ください。

<http://shop.epson.jp/pcrecycle/>

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成いたしました。が、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡ください。よろしくお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

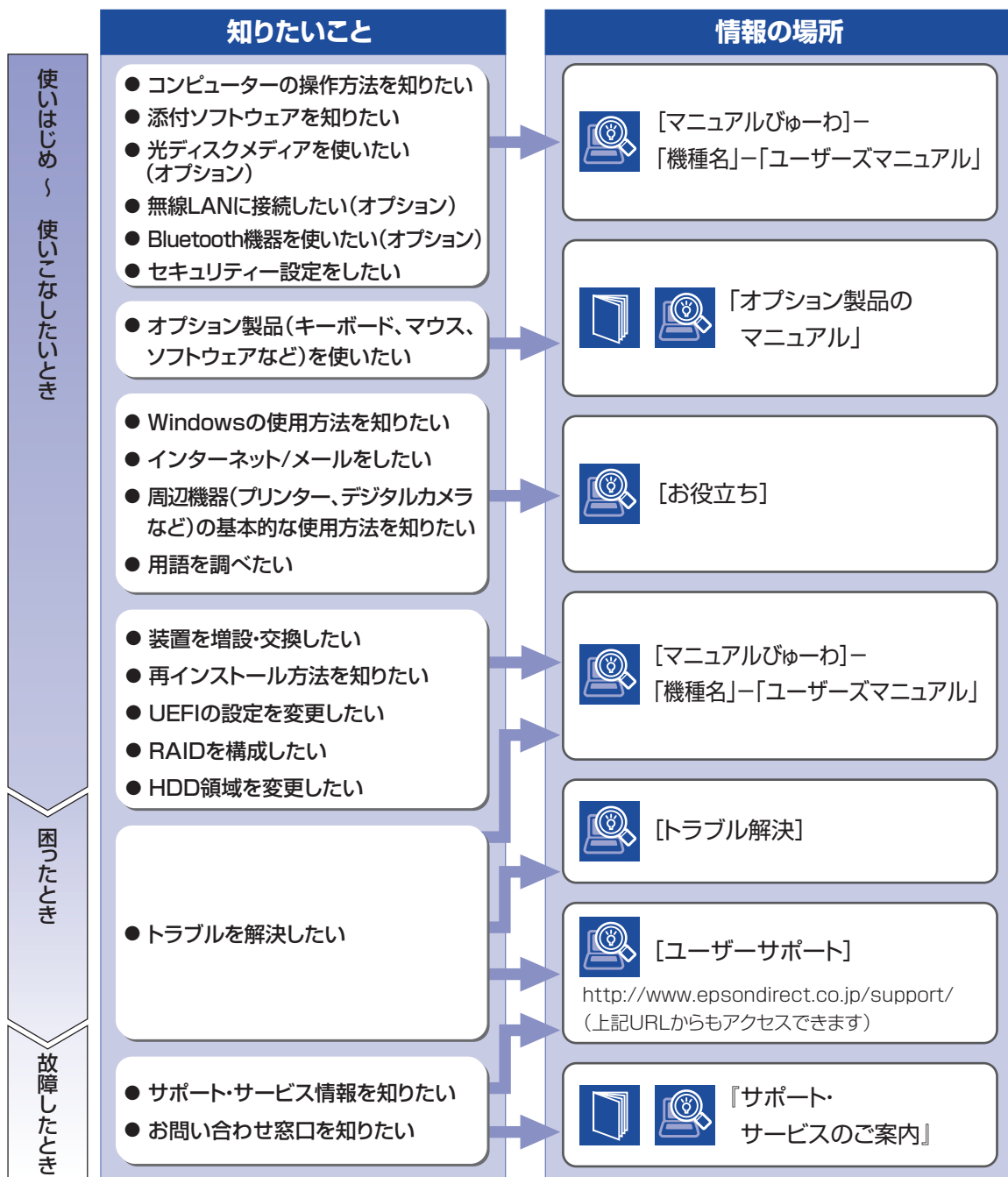
商標について

- Microsoft、Windows、Windows Live、Internet Explorer、Hotmail、Silverlight、MSN、Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Intel、インテル、Intel ロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- PS/2 は International Business Machines Corporation の登録商標です。
- McAfee およびマカフィーは、米国法人 McAfee, Inc. またはその関連会社の米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

そのほかの社名、製品名は、一般にそれぞれの会社の商標または登録商標です。

情報マップ (知りたい情報はどこにある?)

本機に関する情報は、次の場所で見ることができます。



PCお役立ちナビ  p.24

コンピューターの画面で見る電子の情報です。



紙マニュアル

紙で添付されている情報です。